



小学校を活用した シルバースクールを

吉川 三津子議員

課題や効果について研究する

保険福祉部長



▲東郷町の広報から

問 東郷町や日進市では、学校の空き教室など

を使った給食が食べられるシルバースクールが開催されている。社会科などは名古屋飯や喫茶店文化を学び、子どもと同じ給食を食べて、掃除をして帰る内容だ。男性が3割を占め、男性の外出を促す効果も高い。取り組みの考えは。

答 介護予防に向けシルバーカレッジは提案項目の一つだが、シルバース

クールは検討していない。

問 シルバーカレッジは、「学び」に、シルバースクールは「地域とのつながり」に重点が置かれており、位置づけが違う。学校教育課と協力して

研究をする考えは。

答 課題や効果について、相手の市にも聞いて、研究する。

問 東郷町には「市民参加のポイント手帳」で外

出を促す取り組みがある。高齢福祉課以外の部署や、

市民団体が運営するイベントに参加し、ポイントのために、クオカードがもらえるものだ。こうした他部署と連携した取り組みの考えは。

答 介護予防やフレイル予防の観点からも高齢者の外出は重要だ。しかし、他部署との連携が進んでいない。体の動くうちからの取り組みは重要だ。

問 「ゴミ出しに困っている高齢者が増えている。戸別回収、ステーションを増やす等の予定は。

答 関連部署と連携した体制整備が必要だ。現在も検討中だ。

残骨灰に含まれる
貴金属の有効利用を

問 残骨灰には、故人が身につけていた有価金属

の粉末が含まれ、業者間で金・銀・パラジウムなどが売買されている。有価物を売却する自治体が増えていく。残骨灰は誰のものか。

答 収骨後の残骨灰は、市の所有物だ。

問 残骨灰の処理方法と費用は。

答 有害物を無害化し、納骨灰・金属類等に分け、納骨灰は納骨、金属類はリサイクルしている。委託料は約13万円だ。

問 リサイクルされている金属の有価金属だ。

岐阜市では、有価金属売却益が年間7300万円だ。多数の自治体でも売却の方針と聞くと取り組む考えは。

答 遺族の心情への配慮をし、研究していく。